

# 松山商業高等学校記念館北側ブロック塀改修工事

## 設計図

### 図面リスト

図番	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	NONSCALE
A-01	特記仕様書-1	NONSCALE
A-02	特記仕様書-2	NONSCALE
A-03	特記仕様書-3	NONSCALE
A-04	特記仕様書-4	NONSCALE
A-05	附近見取図、敷地配置図	S=1:800
A-06	(改修前)解体CB塀詳細図	S=1:100.50
A-07	(改修後)目隠しフェンス詳細図	S=1:100.50

(株)大建設計工務

代表取締役 正岡 秀樹

(設計者)一級建築士登録第230107号 矢野 和彦

工事仕様書

1 工事概要

- 1. 工事場所 松山市旭町71番地
2. 敷地面積 25.182㎡
3. 工事種目 新築・増築・改築・修繕
4. 都市計画区域等の内外 準・外
5. 用途地域 近隣商業地域 (300/80)
6. 防火地域等の内外 準・外
7. 耐火建築物等 (耐・準耐・無)

2 建築工事仕様 (令和4年改正)

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理情報整備「公共建築工事標準仕様書 (最新版)」(以下「標準仕様書」という)による。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する
(2) 特記事項は◎印のついたものを適用する
(3) 項目に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す
(4) 材料及び製造等の記載は異なる
3. 特記付加事項
承認事項
○実施工程表 ○下請業者名簿 (主要材料共) ・現寸図 (炬計、サッシ等) 及び施工図 ・加工図 ・木材明細書
○レディミクストコンクリート調合表 ・アスファルト配合設計報告書
○仮設工事計画図 (仮設建築物) ○施工計画書 ○その他監督員の指示するもの
試験報告書 ・鉄筋 ○レディミクストコンクリート ・杭打 ・アスファルト切取検査 ・鋼材 ・その他監督員の指示するもの
工事報告書 ○日報又は工事日誌

表形式の特記事項欄

① 適用基準 ※建築工事標準仕様書 (以下「標準図」という) 国土交通省大臣官庁官庁管理情報整備 (最新版)
建築構造設計基準及び関係図 国土交通省大臣官庁官庁管理情報整備 (最新版)
工事成績評定対象 ※対象とする ・対象としない

② 工事実績情報の登録
(1. 1. 4) 工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に提出し確認を受けたあとに、(一財)日本建設情報総合センター (JACIC) に登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」の写しを監督員に提出するものとする。

③ 施工計画書
(1. 2. 2) 品質計画、一工程の施工の承認を行う段階及び施工の具体的な計画を定めた工程別の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。
施工計画書の内容を変更する必要がある場合は、監督員に報告するとともに、施工者に支障がないよう適切な処理を講ずる。

④ 適正な施工体制の確保
1 (作業員の雇用確認)
(1) 受注者は、当該工事において作業を行う全ての作業員を記載した「現場作業員名簿」を作成すると共に、現場に携え付けなければならない。
(2) 受注者は、監督員等が作業員の本人確認のために行う氏名等の確認作業について、作業員に事前の周知を行うとともに、これに協力しなければならない。
(3) 受注者は、上記(1)・(2)に定める「現場作業員名簿」による作業員の雇用確認の際に、「現場作業員名簿」に記載のない作業員が現場で作業を行っていた場合は、その理由を説明しなければならない。なお、その作業員と受注者又は下請負者が雇用関係にある場合は、ただちに雇用関係を証明するための書類 (雇用関係証明書) を作成するとともに、発注者に提出しなければならない。

2 (施工体系)
(1) 受注者は、建設業法施行規則 (昭和24年建設省令第14号) 第14条の6に定める、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成しなければならない。ただし、施工計画書の提出が省略されている工事については、作成を省略することができる。
(2) 受注者は、上記(1)に定める施工体系図を工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げるとともに、発注者に提出しなければならない。
(3) 受注者は、施工体系図に変更が生じた場合は、その都度施工体系図を変更し、上記(1)・(2)の規定により工事関係者が見やすい規定により工事関係者場所及び公衆が見やすい場所に掲げるとともに、すみやかに発注者に提出しなければならない。
(4) 受注者は、工事完成後、全ての構築下請負代金額を記載した施工体系図に最終の下請負契約書の写しを添付して発注者に提出しなければならない。

3 (名札等の着用)
受注者は、現場代理人及び自社を含む当該工事に係る請負契約を締結している建設業者 (2次下請負者を含む全ての下請負者) の主任 (監理) 技術者に、氏名及び会社名の入った名札等を着用させなければならない。ただし、名札の着用により作業に支障をきたす恐れがある場合は、着衣への縫込又はヘルメットへのシール添付等の他の方法によることができる。
4 (主任技術者又は監理技術者の専任)
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (現場事務所の新設、資材機器の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間) については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、特別の事情がない限り、契約書に定める工事始期日以降30日以上なければならない。

⑤ 工事の記録
(1. 2. 4) 工事施工状況写真の撮影対象、撮影時期及び撮影要領は、工事写真の撮り方 (建築編) 国土交通省大臣官庁官庁管理情報整備による。

⑥ 発生材の処理等
(1. 3. 1.1) 建設副産物の適正処理
建設副産物の処理にあたっては、「建設副産物適正処理推進要綱 (平成14年5月31日付国土交通省 次官通達)」に準拠し、建設副産物の適正処理に努めなければならない。

2 (建設副産物の適正処理)
建設副産物の再利用については、適正に実施すること。
建設副産物の品質等により利用が困難な場合は、監督員と協議すること。

3 (建設副産物の搬出)
建設副産物の搬出については、別表-1により行うこと。なお、建設副産物のうち産業廃棄物に該当する建設副産物の処理は、下記1・2・3によること。
受入れ場所等との協議等、他の受入れ場所へ搬出する必要がある場合、又は他の受入れ場所がない場合は、監督員と協議すること。

1 処理計画書
受注者は、工事の施工により産業廃棄物が発生した場合、産業廃棄物処理計画書 (別紙様式-3) を提出し、監督員の承認を得た後、処理しなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。
2 受注者は、産業廃棄物処理計画書提出時に、下記事項についても提出しなければならない。
(1) 産業廃棄物処理委託契約書 (写)
(2) 処理業者の許可証 (写)
(3) 積替・保管施設、中間処理施設、最終処分場等までの運搬経路地図及び写真

3 (1) 受注者は、産業廃棄物の処理を適正に行い、産業廃棄物処分状況の分かる写真等 (提出車両の車両番号、数量等を明示した積載状況、処分先への搬入状況等) の施工管理資料を整理し、工事施工中においては、1週間ごとに監督員に提示しなければならない。
(2) 受注者は、工事施工後3 (1) の施工管理資料のほか、産業廃棄物処理計画書に実態を記入した産業廃棄物処理実施書を作成し提出しなければならない。

4 (1) 受注者は、産業廃棄物処理の委託に際して、廃棄物の種類ごとにマニフェストまたは電子マニフェストを使用し委託した産業廃棄物が適正に処理されたかどうか確認しなければならない。
また、マニフェストの交付に際しては、廃棄物処理責任者が廃棄物の種類、数量、単位、発行日等の必要事項を記載しなければならない。
(2) 受注者は、工事施工中においては、3 (1) の施工管理資料とともに、マニフェスト使用の場合は返却されたマニフェストの写し、電子マニフェストの場合は情報処理センターからの通知の画面印刷を監督員へ提出しなければならない。
(3) 受注者は、産業廃棄物が適正に処理されたことを確認したうえで、工事施工後、マニフェスト仕様の場合E票の写し、仕様の場合は情報処理センターからの通知の画面印刷を電子マニフェスト出しなければならない。
ただし、工期内に最終処分が完了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、E票の写しまたは処分通知の画面印刷を提出するものとし、最終処分完了後、確認出来次第、速やかにE票または最終処分通知の画面印刷を、工事完了に際して提出するものとする。

5 (資源環境促進税について)
本工事で発生する産業廃棄物を、集みの最終処分場へ搬入する場合 (中間処理施設を経由する場合を含む。)、資源循環促進税が課税されるので適切に処理すること。
別表-1
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第2条第5項の規定による特定建設資材の処理及び産業廃棄物に該当する建設副産物の処理は、次の場所とする。
1. 建設副産物 (建設発生土) の搬出については、次の場所に搬出すること。
(1) 土砂
場 所: オオノ開発 株式会社
工事名:
搬出時間 AM 8:30 ~PM 5:00
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
2. 建設副産物 (建設発生土以外) の搬出については、次の場所への搬出を見込んでいる。
(1) コンクリート塊
事業所名: オオノ開発 株式会社
営業時間 AM 8:30 ~PM 5:00
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(2) アスファルト・コンクリート塊
事業所名:
営業時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(3) 建設発生土材・伐採木
事業所名:
営業時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(4) 建設汚泥
事業所名:
営業時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(5) その他 (鉄・アルミ) (塵芥) (がれき類) (陶器・陶磁器類) (石膏ボード) (蛍光灯・廃油)
事業所名: オオノ開発 株式会社
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
※ 上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

4 (再生資材の利用)
1 受注者は、別表-2の資材の使用に際し、再生資材を使用すること。なお、再生資材の搬入にあつては、別表-3によること。
2 再生資材の品質に関しては、使用に際し、舗装再生便覧【(公)日本道路協会発行】やコンクリート副産物の再利用に関する用途別判定品質基準 (案) 等を遵守し、適正な品質を確保するため再生処理施設において、品質の確認を行わなければならない。
なお適正な品質が確保できない場合及び再生材の確保が困難な場合は、監督員と協議すること。

別表-2 再生資材の規格と使用箇所

別表-3 再生材の搬入については、次の場所に搬入すること。
(1) 再生資材
・粗度調整砕石 (RC-40)
事業所名:
営業時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(2) 土砂
場 所:
工事名:
搬出時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。
(3) その他
場 所:
工事名:
搬出時間 AM ~PM
また、運搬距離は、 kmを見込んでいる。

5 (特定建設資材の分別解体及び再資源化)
受注者は、本工事が建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第9条に規定する対象工事 (以下「対象建設工事」という。) の場合、同法に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適切な措置を講ずること。

6 (再生資源 (促進) 計画書及び実施書)
1 受注者は、本工事に係る資材が100万円以上の場合、再生資材の利用及び建設副産物の発生・搬出の有無や多寡に関わらず、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。
2 受注者は、前項の場合には、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を工事完成時に提出すること。
なお、再生資材の利用及び建設副産物の発生・搬出が無い場合でも、工事概要のみ記載して提出すること。
3 受注者は、再生資源利用 (促進) 計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム (DOBIS) により作成すること。
4 受注者は、再生資源利用 (促進) 計画書及び実施書を工事完成後1年間保存すること。

7 (再資源化等報告書)
受注者は、本工事が対象建設工事の場合、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときには、同法第18条第1項に基づき、以下の事項を記録し報告しなければならない。なお、様式は再生資源利用 (促進) 実施書とする。
(1) 再資源化等が完了した年月日
(2) 再資源化等をした施設の名前及び所在地
(3) 再資源化等に要した費用

8 (建設副産物の利用)
1 建設副産物の再利用については、適正に実施すること。
2 建設副産物の品質等により利用が困難な場合は、監督員と協議すること。
3 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律第9条第1項に規定する対象工事について受注者は下記 (1) (2) (3) について契約前に監督員と協議を行うこと。
(1) 解体工事 (2) 新築工事 (3) 建設以外のものに係る解体工事又は新築工事

7 耐荷重及び耐外力
建築基準法に基づき定められた区分等
※基準風速 V0=34m/s
※地表面粗土区分 ・1 ・2 ・3 ・4 平均速度圧 N/m2
・積雪区分 告示145号 別表 ( )
・配置する

8 電気保安技術書
(1. 3. 3) 施工条件
(1. 8. 5) 施工時間等 ※指定なし ◎指定あり (学校と協議)
部位別の施工順序 ※指定なし ・指定あり ( )
工事着手後、本工事において設計図書に記載されていない通常の施工条件として発注者及び受注者が想定できない制約等が生じた場合は、発注者及び受注者双方で協議のうえ、必要に応じて工期の延長や設計変更等により対応する。

11 建築材料等
本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督員の承認を受ける。なお、品質・性能等の他に「追加による」と記載された材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料等を監督員に提出し、承認を受けるものとする。なお、「詳細仕様による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官庁官庁管理情報整備「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿 (最新版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承認を受ける。

13 特別な材料の工法
14 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策
適用範囲 監督員と協議のこと
保険の種類 ・火災保険 ・建設工事保険 ・組立保険
保険期間 ・工事着手から工事目的物引き渡しまで
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承認を受けて、当該製品の指定工法による。
監督員と協議した対象物の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める基準以下であることを確認し監督員に報告する。
測定法 (※ 追加による)
木工用接着剤 接着剤に含まれている可塑剤は、揮発性のものとする。
木材保存材 木材保護剤 (木材の防腐・防虫処理) は、非揮発性系とする。
防霉・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合は、加工した箇所に対し、現場にて木材保護剤を塗布することとする。

15 技能士
(1. 5. 2)
・適用する ・適用しない
工事種目 技能検定職種 技能検定作業
・仮設工事 ・とび
・鉄筋工事 ・鉄筋工
・コンクリート工事 ・型枠工
・鉄骨工事 ・鉄工
・コンクリートポンプ・ALCパネル 組立成形セキト工事
・防水工事
・石工事
・タイル工事
・木工事
・屋根及びとい工事
・金属工事
・左官工事
・建具工事
・カーテン工事
・塗装工事
・内装工事
・排水工事
・舗装工事
・舗装工事

ただし、上記により難い場合は、監督員と協議のうえ、適用する工事種目を決定することとする。
下記のものを監督員に提出する。
分類・規格 撮影箇所 部数 断面の大きさ (mm)
・カラー ※キャビネット (原紙共) ・金銀パネル (425x525mm程度) 4面 (外観) 内観 2部 ※100x125以上
・カラー四つ切り (アルミ積層入り) 1箇所 1部 ・2.4x3.6以上

完成写真等の撮影業者 ※監督員の承認する撮影業者
上記のほか、監督員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、C-D-Rにて提出すること。
画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ: 1024x768(4:3程度)
※完成図 (作成範囲) ・配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 ・仕上表
(作成方法「電子部品及び電子検査に関する特記仕様書 (登録)」参照 ※CAD (C-D-R提出))
※施工図及び完成図は、2折製1部を提出する。
※関係に関する資料 (提出部数 ※1部 ・部)
・デジタルカメラで撮影された工事写真 (データ提出) 構造上主要な箇所すべての工事写真を含む
ただし、完成写真、着工前写真及び監督員が指示する写真については、紙成果品を併せて納品すること。

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 仮設工事 (Temporary Work), 土工事 (Earthwork), 地盤工事 (Groundwork), 鉄筋工事 (Reinforcement Work), and コンクリート工事 (Concrete Work).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 長尺金網振置 (Long Mesh Installation), 折板葺 (Sheet Piling), and 金属工事 (Metal Work).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 土工事 (Earthwork), 土工事 (Earthwork), 土工事 (Earthwork), and 土工事 (Earthwork).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for 軽量鉄骨地下 (Lightweight Steel Frame Underground), アルミ合金製土留 (Aluminum Alloy Soil Retention), モルタル塗り (Plastering), セルフレベリング材 (Self-leveling Material), 仕上塗材仕上 (Finishing Coating), 鉄鋼の垂吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel), 鉄鋼の重吊めっき (Galvanizing of Steel).

Project information block including project name (松山商業高等学校記念館北側ブロック塀改修工事), client (DAIKEN ARCHITECT & ASSOCIATES), and drawing details (特記仕様書-2, A3 NONSCALE).

2	メタルカーテンウォール (17.2.2~3) (17.2.5)	<p>主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th>支間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>※たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>解開変位追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>建築物の構造種別</th> <th>層間変位量 (h=支間距離)</th> <th>変位後の状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/300)×h以上</td> <td>シーリングは補修目的の損傷であること。</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材料 下表以外は標準仕様書9.7.1による (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>接着体の組合せ</th> <th>記号</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td rowspan="2">主成分による区分</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>石、タイル ガラス</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール取付目地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造用フック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (施工箇所 ※図示)</li> <li>材質 ・クロロレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系</li> <li>形状 ・H型 ・Y型 ・C型</li> <li>寸法(mm) ガラス板厚 ( )、支持棒の厚さ ( )、ウェッジの寸法 ( )</li> </ul> <p>断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>厚さ(mm) ( )</li> <li>施工箇所 ※図示</li> </ul> <p>耐火材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ファスター部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>カーテンウォールの材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>規格等</th> <th>表面処理</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※標準仕様書16.2.3による</td> <td>・A-1種 ・A-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>着色 (・アノード処理) ・ブラブラ系 ・シンター</td> <td></td> </tr> </table> <p>製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1~3による ガラスの寸法、形状 ※製造所の仕様による</p>	支間距離 (h)	耐風圧性能	状態	4m以下	※たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。	4mを超える			建築物の構造種別	層間変位量 (h=支間距離)	変位後の状態	鉄骨造	※±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。	鉄筋コンクリート造	※±(1/300)×h以上	シーリングは補修目的の損傷であること。	鉄骨鉄筋コンクリート造			接着体の組合せ	記号	シーリング材の種類	金属	ガラス	主成分による区分	ガラス	石、タイル ガラス	カーテンウォール取付目地			施工部位	種別	規格等	・ファスター部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			材料	規格等	表面処理	映像調整	※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.3による	・A-1種 ・A-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)	・行う ・行わない			着色 (・アノード処理) ・ブラブラ系 ・シンター		<p>20 ユニテータ及びその他の工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構造</th> <th>仕上り高 (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・パネル構造 ・混構造</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000N ・5,000N</td> <td>・普通防止圧タイル ・タイルカーペット</td> <td>・500×500</td> </tr> </table> <p>表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による</p> <p>構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製</p> <p>帯電防止性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏えい抵抗</li> <li>・スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による</li> </ul> <p>耐荷重性能 (5000N) の性能</p> <p>平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評定において評価を取得したもの、又は同等程度のものとする。</p> <p>ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない</p> <p>ローリングロード試験</p> <p>耐荷重性能 (3000N) : 積載荷重1,000Nの際、最大変形量1.5mm以下 (使用上有有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)</p> <p>耐荷重性能 (5000N) : 積載荷重1,000N以上の際、最大変形量1.0mm以下 (使用上有有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)</p>	施工箇所	構造	仕上り高 (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	寸法		・パネル構造 ・混構造		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・普通防止圧タイル ・タイルカーペット	・500×500	<p>9 煙突ライニング (20.2.1.1)</p> <p>煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度: 400℃・650℃ キャスタブル耐火材 工法: ・こて押し ・最高使用温度: 400℃</p> <p>10 ブラインド (20.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>※縦形</td> <td></td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>・鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td></td> <td>※1本操作コード式 ※2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>11 ロールスクリーン (20.2.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ポリエステル</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>12 カーテン及びカーテンレール (20.2.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>施工取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・フランスひだ ・羅馬ひだ・つまひだ ・プレーンひだ・片ひだ</td> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・電動 ・ひも引き ・手引き</td> <td></td> <td></td> <td>(参照)</td> </tr> </table> <p>カーテンレール</p> <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製</p> <p>形式 ・片引き ・引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの要掛けとする)</p> <p>形状 ・C型 ・D型 ・角形</p> <p>13 くつまきマット</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>裏付け</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304)</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table> <p>14 収納家具、書架・物品棚</p> <p>・収納家具 ※JIS S 1033 (オフィス用収納棚) による 形状・寸法 ※図示</p> <p>・書架・物品棚 ※JIS S 1039 (書架・物品棚) による 形状・寸法 ※図示</p> <p>JIS S 1039による種類 ・1種・2種・3種・5種・6種・7種</p> <p>15 点検口</p> <p>・天井点検口 品質・性能等 造作による 製造所 評価名簿による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> <th>枠の許容差</th> <th>外枠と内枠のクリアランス</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・縦縁リブ ・目地リブ</td> <td>±0.5mm 以内</td> <td>片側 2.0mm以内</td> </tr> </table> <p>・床点検口 品質・性能等 造作による 製造所 評価名簿による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>枠の許容差</th> <th>受枠と受枠のクリアランス</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・結露防止形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>受枠、受枠とも ±0.5mm以内</td> <td>片側 2.0mm以内</td> </tr> </table> <p>一般形: パッキンを装着しないもの、又はたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形: ポルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの</p>	形式	寸法 (mm)	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	取付箇所	※縦形		※ギヤ式 ・コード式 ・操作式	※アルミニウム合金製	※25	・鋼製	・図示	・縦形		※1本操作コード式 ※2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示	材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	備考	※ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示		ひだの種類	形式	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	施工取付箇所	備考	・フランスひだ ・羅馬ひだ・つまひだ ・プレーンひだ・片ひだ	・シングル ・ダブル	・電動 ・ひも引き ・手引き			(参照)	材質	裏付け	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304)	・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金		種類	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス	※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・縦縁リブ ・目地リブ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	種類	寸法	形式	枠の許容差	受枠と受枠のクリアランス	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、受枠とも ±0.5mm以内	片側 2.0mm以内	<p>2 可変開仕切 (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>表面材</th> <th>遮音性</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>※鋼板 ・0.8</td> <td>※メラニン樹脂塗付又は アクリル樹脂塗付 ・焼付塗装</td> <td>・0・12 ・20・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>製造所 JIS A 6512によるもの、または評価名簿による</p> <p>3 移動開仕切 (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方向</th> <th>駆動装置</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面材の材質</th> <th>仕上げ</th> <th>遮音性</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル回転式</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>・焼付塗装 ・珪藻土塗り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>仕上げの塗膜塗りの品質 標準仕様書19.8による</p> <p>遮音性能は、JIS A 6512に準拠する</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強 ※標準仕様書20.2.4 (C) (3)による</p> <p>4 トイレブース (20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の品質</th> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※板木 ・なし</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・標準 ・R</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>5 階段滑止め (20.2.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製 (SUS304) ・ビニルタイヤ入り</td> <td>・約35</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> <td>※有り (※ビニル製 ・ステンレス製) ・無し</td> </tr> </table> <p>6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色彩</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td>・黒板</td> <td>※焼付け</td> <td>※緑・黒</td> <td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td>※厚さ</td> <td>白</td> <td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け</td> </tr> </table> <p>7 鏡 (20.2.9)</p> <p>取付箇所 ( )</p> <p>寸法 (mm) ・図示 厚さ (mm) ※5</p> <p>8 表示 (20.2.10)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>書体</th> </tr> <tr> <td>・商業表示 (・商標)</td> <td>・ステンレス製 ・図示</td> <td>※300</td> <td>※市販品</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・室名札 ・ピクトグラフ</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>※図示</td> <td>・5</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・庁舎案内板 ・各階案内板</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>※図示</td> <td>・5</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>案内用図記号は JIS Z 8219 による。 標準規格、非常用出入口表示等は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。</p>	構造形式	総厚さ (mm)	表面材	遮音性	防火性能	・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	※鋼板 ・0.8	※メラニン樹脂塗付又は アクリル樹脂塗付 ・焼付塗装	・0・12 ・20・28 ・36	・不燃	走行方向	操作方向	駆動装置	厚さ (mm)	表面材の材質	仕上げ	遮音性	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル回転式		※鋼板	・焼付塗装 ・珪藻土塗り	・36未満 ・36以上	表面材の品質	形状	材質	形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※板木 ・なし	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製	材質	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製 (SUS304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	※接着工法 ・埋込み工法	※有り (※ビニル製 ・ステンレス製) ・無し	種類	寸法 (mm)	色彩	形式	・黒板	※焼付け	※緑・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け	・ホワイトボード	※厚さ	白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け	区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	書体	・商業表示 (・商標)	・ステンレス製 ・図示	※300	※市販品	※図示	※図示	・室名札 ・ピクトグラフ	・アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示	・庁舎案内板 ・各階案内板	・アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示	<p>18 塗装工事</p> <p>1 材料 (18.1.3)</p> <p>2 防火材料 (18.1.3)</p> <p>3 床用防じん塗料塗り</p> <p>4 施工業者</p> <p>19 内装工事</p> <p>1 ビニル床シート ビニル床タイル (19.2.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>発泡層のないもの</td> <td>※FS (抜層)</td> <td></td> <td>・無地 ・マーブル柄</td> <td>・帯電防止 ・耐衝撃性</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発泡層のあるもの</td> <td></td> <td></td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・防汚性 ・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所)</p>	種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	発泡層のないもの	※FS (抜層)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐衝撃性	※2.0		発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性		
		支間距離 (h)	耐風圧性能	状態																																																																																																																																																																																																																																																								
4m以下	※たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。																																																																																																																																																																																																																																																										
4mを超える																																																																																																																																																																																																																																																												
建築物の構造種別	層間変位量 (h=支間距離)	変位後の状態																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄骨造	※±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄筋コンクリート造	※±(1/300)×h以上	シーリングは補修目的の損傷であること。																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																																																																																																												
接着体の組合せ	記号	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																										
金属	ガラス	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																										
ガラス	石、タイル ガラス																																																																																																																																																																																																																																																											
カーテンウォール取付目地																																																																																																																																																																																																																																																												
施工部位	種別	規格等																																																																																																																																																																																																																																																										
・ファスター部																																																																																																																																																																																																																																																												
・取付けブラケット																																																																																																																																																																																																																																																												
・パネル目地部																																																																																																																																																																																																																																																												
・層間ふさぎ																																																																																																																																																																																																																																																												
材料	規格等	表面処理	映像調整																																																																																																																																																																																																																																																									
※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.3による	・A-1種 ・A-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																									
		着色 (・アノード処理) ・ブラブラ系 ・シンター																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	構造	仕上り高 (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	寸法																																																																																																																																																																																																																																																						
	・パネル構造 ・混構造		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・普通防止圧タイル ・タイルカーペット	・500×500																																																																																																																																																																																																																																																						
形式	寸法 (mm)	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																						
※縦形		※ギヤ式 ・コード式 ・操作式	※アルミニウム合金製	※25	・鋼製	・図示																																																																																																																																																																																																																																																						
・縦形		※1本操作コード式 ※2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示																																																																																																																																																																																																																																																						
材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
※ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示																																																																																																																																																																																																																																																									
ひだの種類	形式	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	施工取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																							
・フランスひだ ・羅馬ひだ・つまひだ ・プレーンひだ・片ひだ	・シングル ・ダブル	・電動 ・ひも引き ・手引き			(参照)																																																																																																																																																																																																																																																							
材質	裏付け	備考																																																																																																																																																																																																																																																										
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304)	・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス																																																																																																																																																																																																																																																						
※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・縦縁リブ ・目地リブ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	寸法	形式	枠の許容差	受枠と受枠のクリアランス																																																																																																																																																																																																																																																								
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、受枠とも ±0.5mm以内	片側 2.0mm以内																																																																																																																																																																																																																																																							
構造形式	総厚さ (mm)	表面材	遮音性	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																								
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	※鋼板 ・0.8	※メラニン樹脂塗付又は アクリル樹脂塗付 ・焼付塗装	・0・12 ・20・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																																																																								
走行方向	操作方向	駆動装置	厚さ (mm)	表面材の材質	仕上げ	遮音性																																																																																																																																																																																																																																																						
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル回転式		※鋼板	・焼付塗装 ・珪藻土塗り	・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																																																																																						
表面材の品質	形状	材質	形状	材質																																																																																																																																																																																																																																																								
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※板木 ・なし	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																								
材質	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																																																																																																																																																																																																																																									
・ステンレス製 (SUS304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	※接着工法 ・埋込み工法	※有り (※ビニル製 ・ステンレス製) ・無し																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	寸法 (mm)	色彩	形式																																																																																																																																																																																																																																																									
・黒板	※焼付け	※緑・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け																																																																																																																																																																																																																																																									
・ホワイトボード	※厚さ	白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	書体																																																																																																																																																																																																																																																							
・商業表示 (・商標)	・ステンレス製 ・図示	※300	※市販品	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																																																																							
・室名札 ・ピクトグラフ	・アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																																																																							
・庁舎案内板 ・各階案内板	・アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
発泡層のないもの	※FS (抜層)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐衝撃性	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																							
発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性																																																																																																																																																																																																																																																								

建築工事特記仕様書 追補 (その1)

章	項目	特記事項
---	----	------

発生材の処理等

1 建設リサイクル法に係る特定建設資材以外の資材の取り扱い

下記資材の再資源化を積極的に図ること。  
 1) 施工計画書を作成し、建設副産物の発生抑制・再資源化を図る計画とする。  
 2) 再資源化施設を利用する場合、その距離が50kmを超える場合は、最終処分とすることができる。  
 3) 産業廃棄物広域認定制度により指定を受けた資材については、当該施設等に運搬する費用が過大とならないなど、その再資源化が経済性の面において制約が著しくないと認められる場合には、再資源化に努める。  
 4) 新築時の部材は、原則として広域認定制度による製造所等への搬入に努め再資源化を図る。  
 5) 解体材についても広域認定制度の許可製造所等と協議し、再資源化に努める。  
 6) 特定建設資材を再利用した場合は、マニフェストや受け入れ証明書等を提出すること。

工程	資材名	再生方法	備考
土工事	発生土	自・他工事で再利用	土工事における建設副産物活用の当面の運用及び実施要領(愛媛県土木部)
地業工事	建設汚泥	再資源化施設	同上
鉄筋工事	鉄筋	再資源回収業者等	
鉄骨工事	鉄骨	再資源回収業者等	
ALCパネル	ALCパネル	広域認定制度	
押出成形セメント板工事	押出成形セメント板	広域認定制度	
屋根及びびとい工事	塩化ビニル管	広域認定制度 塩化ビニル管・継ぎ手協会	
内装工事	ロックウール	広域認定制度	
	グラスウール	広域認定制度	
	石膏ボード	広域認定制度	
金属・建具工事	アルミ材	再資源回収業者等	
	鋼材	再資源回収業者等	
電気設備工事	電線類	再資源回収業者等	
	配管材料	再資源回収業者等	
	機器・盤類	再資源回収業者等	
	蛍光管	再資源回収業者等	
	小型二次電池	再資源回収業者等	
機械設備工事	塩化ビニル管	広域認定制度	
	塩化ビニル管	塩化ビニル管・継ぎ手協会	
	鋼管など金属類	再資源回収業者等	
	ダクトなど金属類	再資源回収業者等	
	配管・ダクトなどの吊材等	再資源回収業者等	
	ガラス・ロケット	広域認定制度	

外構の解体手順



I 附属するもの及び基礎以外の取り壊し

適用	躯体品目	現場状況	解体手段		分別解体方法			処分方法				
			手壊し	手壊し 機械壊し	先行分別	解体部位	躯体と一体解体部位	現場分別品目	再資源化 (コンクリート)	再資源化 (アスファルト)	再資源化 (木材)	産業廃棄物
<input type="radio"/>	ブロック塀			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			がれき・コンクリート	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	自転車置場屋根			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			鉄くず・塩ビ樋				<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	コア抜きコンクリート			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			コンクリート	<input type="radio"/>			

II 基礎の取り壊し

適用	躯体品目	現場状況	解体手段		分別解体方法			処分方法				
			手壊し	手壊し 機械壊し	先行分別	解体部位	躯体と一体解体部位	現場分別品目	再資源化 (コンクリート)	再資源化 (アスファルト)	再資源化 (木材)	産業廃棄物
<input type="radio"/>	自転車置場土間コンクリート			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			コンクリート・鉄筋	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>

《特記事項》



DAIKEN ARCHITECT & ASSOCIATES

株式会社 大建設計工務

一級建築士登録第 344116号 川手 敏博  
 一級建築士事務所登録第 183号 松山市湯浅町5の3 6 TEL (089)931-3311 代表

松山商業高等学校記念館北側ブロック塀改修工事

特記仕様書-4

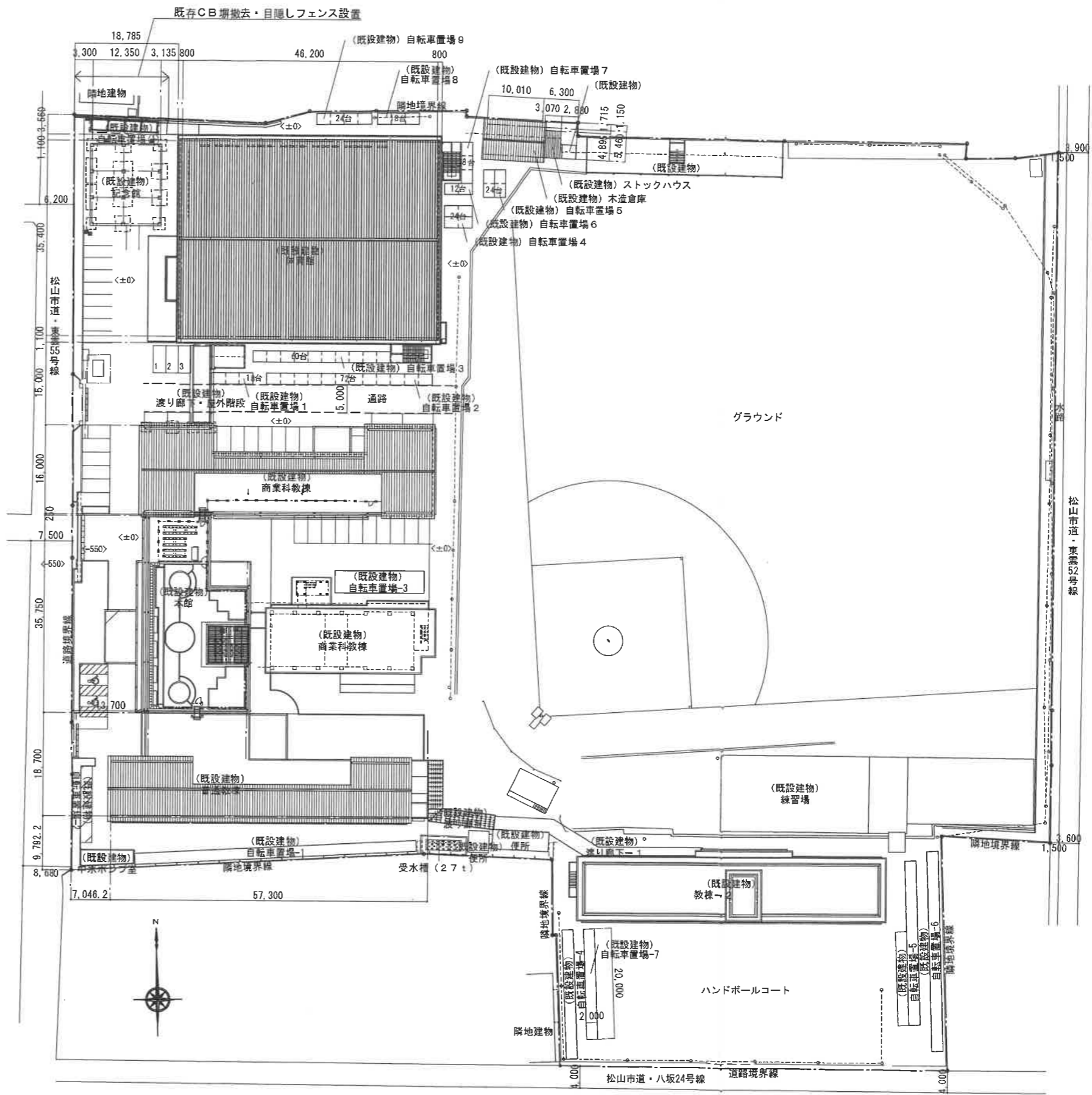
図番 A-04  
縮尺 A3 NONSCALE  
年月日





工事場所：松山市旭町71番地

附近見取図 NONSCALE



敷地配置図 S=1:800

《特記事項》	DAIKEN ARCHITECT & ASSOCIATES 株式会社 大建設設計工務 一般社団法人登録第 344116号 川手 敏 研 一般建築士事務所登録第 193号 松山市湯浅町5の3 TEL (089) 933-3311 代表	松山商業高等学校記念館北側ブロック塀改修工事	図番 A-05
		図名 附近見取図、敷地配置図 縮尺 A3 S=1:800 検印	年月日



